

令和6年度 事業報告



未来パレット

北九州 E S D 協議会

目次

I．事業概要

1. 令和6年度の活動概要		2
2. 組織・活動体制		3

II．活動実績

1. 活動委員会		5
2. 未来創造委員会		12
3. 全体事業		13

III．総括		17
--------	-------	----

令和 6 年度事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日)

I. 事業概要

1. 活動概要

北九州 ESD 協議会では、ESD（持続可能な開発のための教育）を地域に根ざして推進するため、RCE（ESD 地域拠点）としての機能を担っている。

令和 6 年度は、「北九州 ESD アクションプラン 2021～2025」に基づいて令和 5 年度に再編された運営体制（合同委員会、活動委員会、未来創造委員会）をもとに、具体的な協働と実践を進めた 1 年となった。特に未来創造委員会を中心に、若手メンバーが活躍できる環境整備と活動推進に努め、ESD の次世代担い手育成につなげた。

また、会員による自発的な取組を支えるとともに、『未来パレット』などの広報媒体や出前講座を活用し、地域住民や関係団体に対して ESD の理解促進と実践の輪を広げる取り組みを行った。

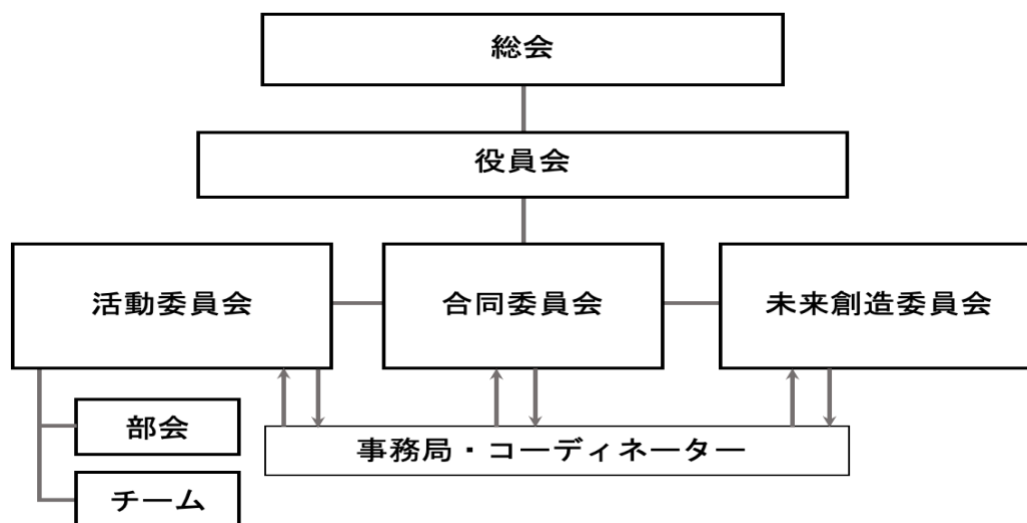
中でも、令和 7 年 2 月に開催した全国 RCE 実務者会議では、北九州の ESD の成果を発信し、会議の企画・運営にはユースが中心に関わるなど、若者主体の協働の成果が顕著に現れた。

なお、6 月には活動拠点であった「まなびと ESD ステーション」から撤退し、事務局は新拠点へと移転した。新拠点では共用スペースを有しないため、今後は会議室等を必要に応じて借用しながら、柔軟かつ持続可能な運営体制の確立を図っていく。

2. 組織・活動体制

- 【総会】 団体会員：95 団体／個人会員：44 名（令和 7 年 3 月 31 日時点）
- 【役員会】 代表：日高京子
副代表：鶴田直、丹羽雅也、北野久美、松尾まゆみ、岩佐健史
監事：川原昌喜、花崎正子
顧問：近藤倫明
- 【合同委員会】 原賀いずみ、入門真生、村江史年、大久保大助、有田雄一（環境学習課）、
岩谷かおり（コーディネーター）
※事務局長は運営として参加
- 【活動委員会】 原賀いずみ、大久保大助、川島伸治、有田雄一（環境学習課）、
岩谷かおり（コーディネーター）
※事務局長は運営として参加
- 【未来創造委員会】 入門真生、村江史年、成田詩歩、八百屋さやか、谷本潤、屋敷佳歩
松山歩未、佐藤真愛、田畑創平（教育委員会）、有田雄一（環境学習課）
岩谷かおり（コーディネーター）
※事務局長は運営として参加
- 【拠点】 北九州まなびと ESD ステーションの閉所に伴い、事務局を毎日西部会館へ移転

北九州ESD協議会の活動体制



Ⅱ．活動実績

活動実績・目次

1. 活動委員会

1-1. 部会活動

ブランディング部会 5

調査研究・国際部会 6

1-2. チーム活動

特定非営利活動法人 KID's work 7

認定 NPO 法人 好きっちゃ北九州 8

聞き書きボランティア・平野塾 9

1-3. その他

ESD プロモート実習 10

Global ESD Youth Project Neuru 11

2. 未来創造委員会 12

3. 全体事業

ESD 出前講座 13

RCE 国内実務者会議 14

会議 15

交流会・その他 16

1. 活動委員会＞部会活動

ブランディング部会

ブランディング部会では、協議会の活動や理念を広く発信し、ESD の認知度向上を図ることを目的として、継続的に広報誌『未来パレットだより』を発行している。令和 6 年度は、事務所移転や RCE 国内実務者会議の開催など、協議会にとって節目となる出来事を中心に特集を組み、活動の成果や意義をわかりやすく伝える誌面を作成した。

また、ESD プロモート実習生として参加した学生たちが企業訪問や現場取材に積極的に関わったことで、誌面の内容に多様な視点とリアリティが加わり、読み応えのある構成となった。これにより、学生にとっては地域課題への理解を深め、発信力を育む貴重な学びの機会ともなった。

■広報紙 未来パレットだより 発行

未来パレットだより vol. 3 6

発行日／部数：10月31日（木）発行／2000部

掲載内容：事務所移転クロージングおよびオープニングセレモニー／企業訪問（JR九州）／北九州のSDGs「北九州市 KAMIKURU プロジェクト」「北九州国際交流協会」「公益財団法人北九州市身体障害者福祉協会」「北九州市社会福祉協議会」「一生もん shop 縁々」「北九州市上下水道局」

未来パレットだより vol. 3 7

発行日／部数：3月31日（月）発行／2000部

掲載内容：国内 RCE 会議・ユース会合フィールドワーク／企業訪問（株式会社北九州パワー・極東ファディ株式会社）／大学教員の ESD 活動／ESD 協議会での活動を振り返って

未来パレットだより vol.36



未来パレットだより vol.37



1. 活動委員会＞部会活動

調査研究・国際部会

調査研究・国際部会では、ESD に関する知見の深化と国際的な相互理解の促進を目的に、継続的に海外との交流事業を行っている。特に韓国との関係は長年にわたり築かれており、学生や教員を交えた相互訪問や受け入れを通じて、ユース世代の国際的視野の育成と地域に根ざしたESD の実践に貢献している。こうした継続的な取り組みは、信頼関係の醸成と持続可能な連携体制の構築に寄与している。

■会議

定例ミーティング

毎月第2木曜日 18:30～20:00

■韓国 ESD スタディセミナー

令和6年9月6日（金）～8日（日） @韓国
（釜山市）



■海外視察等の受け入れ

■韓国RCEインジェ視察受け入れ

令和6年12月16日（月）～19日（木）

高校生6名

内容：16日 下関到着後、長崎原爆資料館見学

17日 慶成高校（小倉北区）訪問・交流

18日 八幡高校（八幡東区）訪問・交流



■韓国RCEインジェ視察受け入れ

令和7年2月3日（月）～6日（木）高校生6名、教員1名

内容：6日 宗像高校3年生と交流

■韓国水原市 視察受け入れ

令和6年11月13日（水）11名

内容：実務者交流会 毎日西部会館会議室



2. 活動委員会>チーム活動

特定非営利活動法人 KID's work

あるきやん 2024～歩く・食べる・寝る・遊ぶ・つくる 50 km～

□活動概要

北九州市内を約 50km 歩いてキャンプする＝あるきやん。令和 6 年は「門司 & 下関」を歩く。小倉城を出発し、風師山、部崎灯台、門司港、壇ノ浦、火の山、カッパ、地蔵など…仲間といっしょに、たくさん歩いて、たくさん食べて、たくさん寝て、門司&下関のおもしろいところを見て感じる 3 日間。あるきやんは、KID's work の中学生～大学生スタッフと大人がいっしょに企画。中学生～大学生スタッフが子どもの時に活動に参加した経験をふりかえり「仲間が いることでできることを知ってほしい」「難しいと思うことに挑戦し乗り越えてほしい」「身体通して街を感じその良さを知ってほしい」といったこれまでの活動を通して感じたこと大切に思ったことをこの「あるきやん」に込めて作った。



□活動日/参加者数

事前踏査:9/21・28・29 事前説明会:10/5 活動日:10/12～14(2 泊 3 日)参加者数:子ども 7 名 スタッフ 8 名

□活動内容

(1 日目) 小倉城⇒風師山⇒もじ少年自然の家 19.2km
絶好の秋晴れの日。小倉城をスタートし、もじ少年自然の家を目指す。小倉の市街地を抜け砂津、長浜、赤坂海岸と門司往還沿いをしばらく歩く。長浜を過ぎた辺りで小倉炭鉱の殉難者の方が祀られたお地蔵さんを見つける。これも歩くからこそ見つかるもの。門司駅前の商店街を歩き、買い食い。こうした買い食いはあるきやんでの楽しみの 1 つである。
風師山のふもとで昼食。一休みした後、風師山へ。山頂からは、関門海峡を見下ろすことができ、北九州下関を一望できる。ここからの風景は、北九州に住む子どもたちには見てもらいたい、記憶に留めてもらいたいふささの風景であると思う。ここからももじ少年自然の家へ。到着後、テント設営、夕食を作り、食べて 1 日目終了。
(2 日目) もじ少年自然の家⇒部崎灯台 17.2km
もじ少年自然の家から部崎灯台までを往復する ルート。もじ少年自然の家を出発。白野江の山の中に あり古い道を抜け青浜海岸、部崎灯台へ。目の前の 海(周防灘)が見せる景色は最高に美しい。この日は 大積に残る河童伝説の場所 2 カ所に少年自然の家に 戻る。夕食はカレーを作って食べて 2 日目終わる。
(3 日目) もじ少年自然の家⇒門司港⇒関門海峡⇒火の山⇒下関⇒門司港駅 17.8km
最終日の朝。朝焼けがとてもきれい。朝食後、荷物のまとめとテントの撤収し出発。昨日までとは様子とは一転、子どもは無言で歩く。2 日間の疲れがたまっている様子。峠を越え門司港の街に入る。潮風号に乗って和布刈公園で昼食。午後からは、関門海峡を人道で渡り、県境を越え下関市へ歩を進める。
2 年前のあるきやんではいけなかった火の山へ。ロープウェイで山頂へ。展望台から関門海峡を望む。関門橋、風師山、遠く小倉の街が一望できる。子どもは、これまでの時間で自分たちが歩いてきた場所を確認することができた。下山し赤間神宮へ。壇之浦の戦いや平家の話、そして耳なし芳一の話子どもたちに伝える。唐戸の渡船場から門司港へ。到着後、跳ね橋から栄町商店街へと散策し門司港駅に到着。3 日間の総距離 54.2 キロ 総歩数 107,000 歩。



□活動成果

- ・参加した子どもたちがケガなく 50 キロを踏破することができた
- ・若手スタッフが中心となって事業を運営し、役割を得たスタッフがそれぞれの役割を担い果たすことができた
- ・役割の意味を理解し、役割を果たすためにどのように行動するべきか自分たちで考え動くことができた
- ・実施後のふりかえりからスタッフが自分自身の課題を見だし、次の事業にテーマを持って関わるようになった
- ・若手スタッフが協議会等での事業発表の機会を通して、事業の価値を再認識できた。

2. 活動委員会>チーム活動

認定 NPO 法人 好きっちゃ北九州

『あそぼうさいプログラム』のパッケージ化とその展開

□活動概要

「遊ぼう!」と「防災」を掛け合わせた『あそぼうさい』において令和4・5年度には、人づくり、コンテンツづくり、マニュアル整備への『動画化』を果たしてきました。令和6年度は、コンテンツの展開を行い、より多くのE S D人材が「あそぼうさい」を実施できる体制を目指しました。

□活動日/参加人数

「好きっちゃアカデミー」の若いE S D人材とともに、随時、コンテンツづくりを進めました。

令和6年度には、「あそぼうさい」を28回行いました。参加した若いE S D人材は359人で、参加した人は、8,542人です。

□活動内容

全40種類以上ある「あそぼうさい」コンテンツのうち、10種類の遊びを、5団体に提供・展開しました。

写真のように、手作りグッズの増刷・追加作成を行いました。

追加で作成したコンテンツにより、提供団体が、独自であそぼうさいを実施できるようになると、今後のE S D活動の広がりがより期待できます。

□活動成果

各地のあそぼうさいに、それぞれでコンテンツを持ち寄って開催することもできました。

さらには、提供・展開団体において好きっちゃとは別の動きで、あそぼうさいやさらに派生した活動を展開しています。

当初目指していた、E S Dの広がりやE S D人材の成長につながっています。



2. 活動委員会＞チーム活動

聞き書きボランティア「平野塾」

小伊藤山から平和を祈る「八幡大空襲 戦後 79 年慰霊祭」

～市民の戦争体験を語り継ぎ、平和の尊さ・命の大切さを思い起こす活動～

□活動概要・内容：

5月からリーフレットやプログラム内容の検討を重ね、発注や関係諸団体と会場の音響や設営計画の準備を始めた。近隣の市民センターへの協力のお願いや会場周辺への挨拶まわり、3年前から始めた空襲没者の氏名読み上げをする学生の募集も募った。「平野塾」行っている「八文字カフェ」参加者からの協力も呼びかけ、児童合唱クラブの参加も取り付けることができた。

★ 猛暑の中
約220名が参加

★ ・小学生
・八幡医師会
看護専門学院生
・九州国際大学生
も協力

★ 熱中症対策で
看護師も待機！



次世代を担う若者も大勢参加！



【主催】 聞き書きボランティア「平野塾」
平野まちづくり協議会
小さな平和運動連絡協議会
「ナイチンゲール平和の灯運動」
平野市民センター
【共催】 前田まちづくり協議会
尾倉まちづくり協議会

□活動成果：

小伊藤山公園での慰霊祭も5回目を迎え、マスコミ報道の影響もあり地域の恒例行事として関心を持たれるようになってきた。前田に加え尾倉市民センターも加わり、まち協も準備から片付けまで加わるようになった。八幡医師会看護専門学院、鳴水小学校ハーモニッククラブとその家族など初参加の方々を迎え、約250名の参加者を得ることができた。また大学からは学びを深めるために今後も慰霊祭に関わりたいと申し出があった。

1. 活動委員会＞その他

北九州市立大学地域創生学群

ESD プロモート実習

北九州市立大学地域創生学群による「ESD プロモート実習」では、学生が ESD の普及と地域の多様な主体との連携を目的に活動を行っている。

中でも「ESD ツキイチの集い」は、学生が主体的にテーマ設定・企画・運営までを担う定例イベントであり、市民や専門家との対話を通じて ESD への理解と関心を深める場として継続的に開催されている。

このほかに、「未来ホタルデー」、「エコライフステージ」、「ムーブフェスタ」への出展、また、サブコーディネーターとして「ブランディング部会」、「調査・研究国際部会」、「未来創造委員会」などの様々な活動にも関わり、実践を通して企画・調整・広報などのスキルを習得した。

ESDツキイチの集い

【第 48 回 ESD ツキイチ】「もっと知りたい北九州！！～海の未来を考えよう～ in 藍島」

令和 6 年 8 月 9 日(金)10:00～15:30/学生スタッフ 15 名、参加者 35 名

【第 49 回 ESD ツキイチ】「環境に E(良い)スポーツでい(Day)!～白熱キタ Q リーグ～」

令和 7 年 1 月 18 日(土)10:00～12:00/学生スタッフ 18 名、参加者 7 名

【第 50 回 ESD ツキイチ】『クリスマス限定?! ESD 食堂オープン!!

～フードロスの知識、さあアップデートしよ?～」

令和 6 年 12 月 21 日(土)15:00～19:00/学生スタッフ 15 名、参加者 62 名

【第 51 回 ESD ツキイチの】『まちなか ESD 探検隊ミッション:SDGs を全制覇せよ!』

令和 7 年 1 月 26 日(日)13:00～17:00/学生スタッフ 17 名、参加者 11 名



第 50 回 ESD ツキイチ・ESD 食堂

イベント出展

【未来ホタルデー】令和 6 年 6 月 8 日 (土) ～9 日 (日)

テーマ「あつまれカーボンニュートラルの森」



第 51 回 ESD ツキイチ・まちなか探検

【エコライフステージ 2024】令和 6 年 11 月 16 日 (土) ～17 日 (日)

テーマ「めざせエコライフマスター!!」

1. 活動委員会＞その他

西南女学院大学人文学部英語学科

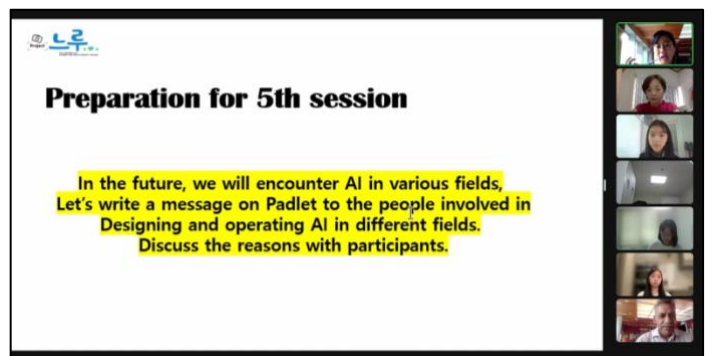
Global ESD Youth Project Neuru

□活動概要

RCE Dobong-gu が主催する、アジア太平洋地域の RCE に所属する小学生から大学生を対象としたオンライン・プロジェクトである。ESD に関するテーマについて調査・討論を行いながら、環境リテラシーを高め、リーダーシップを育成することを目的としている。令和 6 年度は AI をテーマに実施された。

□参加者

北九州からは西南女学院大学人文学部英語学科 3 年生の 2 名が参加した。このプロジェクト全体の参加者は、約 60 名（韓国、中国、インド、モンゴル、米国、日本）であった。



□活動内容

令和 6 年 4 月から 10 月にかけて、毎月 1 度、各回のトピックについての課題を提出し、Zoom を通じて調査結果を発表し、意見交換を行った。最終的には 5 つのグループに分かれ、メディア、環境、教育、乗り物、医療の分野での AI の活用について、持続可能な社会の観点から考察し、その成果を発表した。

□活動成果

同じテーマであっても地域によって捉え方や状況が異なることを実感し、地球規模で考え、地域で行動することの重要性に改めて気づく機会となった。通常であれば交流が難しい遠方の同世代の若者たちと、半年間継続的に意見交換を行い、グループとして意見をまとめる過程を通じて、アジア太平洋地域の RCE ユース間の交流を深め、各自のリーダーシップの向上にもつながった。本プロジェクトは今年度で 4 年目を迎え、AP RCE Meeting 等での交流を通じて、参加地域および参加者は年々増加している。

2. 未来創造委員会

未来創造委員会

□活動概要

令和5年度から設置した『未来創造委員会』は、50歳以下のメンバーによる産学官民の多彩なメンバーで構成されています。令和5年度の検討結果として、若い世代のESD人材の獲得や、若い世代へのESDの普及には、『フィールド』と『コンテンツ』が重要であることを結論付けました。

令和6年度の活動においては、ESDを楽しく学ぶことができる『ESDエデュテインメント』の開発を行ってきました。

□活動日／参加人数

「主に、オンラインミーティングとグループチャットにて、コンテンツ開発の検討を進めてきました。開発したコンテンツの実践の場として、6回の子ども向けのイベント・講座で実践と検証を繰り返しました。

参加者は、子ども達を中心に1,395人、学生などの若いESD人材は延べ71人、未来創造委員会のメンバーは延べ24人が参加しました。

□活動内容

持続可能な未来づくりに向けた学びであるESDは、とても大切な概念であるものの、抽象的で分かりにくいという課題があります。

遊んで、楽しく実感できるコンテンツを開発していききました。

「エデュテインメント」とは、エデュケーションとエンターテインメントの造語です。

環境問題、福祉、音楽など、メンバーの興味関心に沿って、開発と実践してきました。

□活動成果

ESDを学ぶコンテンツとして、楽しい遊びを開発することができました。

子ども達がESDに触れ、学んだり、気付いたりする機会となりました。

こうしたコンテンツをもとに、子どもをターゲットとした若い世代へのESDの広がりや、若いESD人材の活躍の場にもなりました。

また、10テーマを集めた『ESDエデュテインメント集』を作成することができました。



3. 全体事業

ESD 出前講座

ESD 出前講座は、ESD（持続可能な開発のための教育）の地域への普及と実践の促進を目的として、地域コミュニティや教育現場へ講師を派遣する取組です。

令和6年度は、市民センターや学校など地域の拠点を通じて44回の講座を実施しました。講座内容は、「ESD 出前講座カタログ」（環境・国際理解・多文化共生・防災など多岐にわたるテーマで構成）に基づき、各地域の課題やニーズに応じた柔軟な対応がなされました。

これにより、市民一人ひとりの暮らしや地域活動とESDとの接点を広げ、地域づくりの担い手育成にも寄与しました。

●開催回数：44回 ●受講人数：1,300名

開催日	曜日	時間	所要	単位	申込団体	担当者	講座内容	講師
4月26日	金	14:00 16:00	2:00	2:00	八児市民センター	林	モルック体験	私たちの未来環境プロジェクト
5月10日	金	10:00 12:00	2:00	2:00	木屋瀬市民センター		「私を知ってつちやノート」が繋ぐ介護する側・介護される側の信頼の絆	NPO法人をいをえる北九州家族の会
5月25日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	貫市民センター	辻	八幡大空襲と皿倉山のハ文字焼などの講話	聞き書きボランティア「平野塾」
6月6日	木	10:00 12:00	2:00	2:00	簡井市民センター	福山	幸運な人と不運な人を隔てるものは何か！～ESD活動を通じて学んだこと～	金子良憲
6月8日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	高須市民センター	野山	大人も子どもも防災で遊ぼう！	NPO法人好きっちゃ北九州
6月15日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	香月市民センター	小林	色々な鬼ごっこ&スポーツ鬼ごっこ体験	私たちの未来環境プロジェクト
6月21日	金	10:00 12:00	2:00	2:00	槻田市民センター	尾上	あなたの大事な人が認知症？あなたならどうする	NPO法人をいをえる北九州家族の会
6月26日	水	10:00 12:00	2:00	2:00	東戸畑市民センター	渡辺	知っているような気がするけど、いまさらきけないカタカナ言葉	科学技術コミュニケーション研究会
6月27日	木	10:00 12:00	2:00	2:00	足原市民センター	橘谷	知っているような気がするけど、いまさらきけないカタカナ言葉	科学技術コミュニケーション研究会
6月29日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	熊市民センター	中島	「悲鳴をあげている地球環境！～もっと、もっと、もっといらないを習慣化しよう～	金子良憲
7月3日	水	9:00 10:30	1:30	2:00	北九州市立花尾中学校		平和学習 八幡大空襲体験者からの伝言	聞き書きボランティア「平野塾」
7月4日	木	13:15 15:00	1:45	2:00	東郷市民センター	佐藤	暮らしとともにある「天気・気象」を学ぼう！	NPO法人好きっちゃ北九州
7月6日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	柄杓田サブセンター	佐藤	大人も子どもも防災で遊ぼう！	NPO法人好きっちゃ北九州
7月9日	火	10:40 11:25	0:45	1:00	北九州市立花尾小学校		平和学習 八幡大空襲体験者からの伝言	聞き書きボランティア「平野塾」
7月13日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	上津役市民センター	谷崎	遊んで学ぶモノづくり	環境学習サポーターの会
7月13日	土	11:00 12:00	1:00	1:00	清水市民センター	重原	エコ博士ロンリーと学ぶ「ゴミ分別で地球を救おう」	NPO法人サステナビリティ研究所
7月13日	土	13:00 15:00	2:00	2:00	上津役市民センター	谷崎	遊んで学ぶモノづくり	環境学習サポーターの会
7月16日	火	10:00 12:00	2:00	2:00	葛原市民センター	長田	思い出ラベル	NPO法人好きっちゃ北九州
7月20日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	上津役市民センター	谷崎	遊んで学ぶモノづくり	環境学習サポーターの会
7月20日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	泉台市民センター	永井	SDGsアート大作戦	岩谷かおり
7月23日	火	10:00 11:00	1:00	1:00	東戸畑市民センター	渡辺	私たちが歴史から学ぶべきこと～平和学習を通して考える「命の継承」と「今」	北九州戦争を次世代に伝えていく会
7月29日	月	13:30 15:30	2:00	2:00	門司中央小学校児童クラブ		遊んで学ぶモノづくり	環境学習サポーターの会
7月27日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	永犬丸西市民センター	田志	平和学習 八幡大空襲体験者からの伝言	聞き書きボランティア「平野塾」
8月3日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	枝光南市民センター	今道	ふれあい竹チェロ体験講座（ジュニア竹楽団）	竹楽共振プロジェクト
8月10日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	赤崎市民センター	武田	私たちが歴史から学ぶべきこと～平和学習を通して考える「命の継承」と「今」	北九州戦争を次世代に伝えていく会
8月20日	火	10:00 12:00	2:00	2:00	葛原市民センター	長田	家をすっきり片付けながら人生百年時代の暮らしを考えませんか？	科学技術コミュニケーション研究会
9月14日	土	11:00 12:00	1:00	1:00	赤坂市民センター	中山	布枝シアター・かばんミュージアムで伝える北九州の自然	北九州インタープリテーション研究会
9月27日	金	13:00 14:00	1:00	1:00	西門司校区社会福祉協議会	藤原	修験と神楽とエコロジ―『豊前神楽』と伝説のお話	北九州インタープリテーション研究会
10月2日	水	10:00 12:00	2:00	2:00	ESD協議会	塚本	布枝シアター・かばんミュージアムで伝える北九州の自然	北九州インタープリテーション研究会
10月3日	木	10:00 12:00	2:00	2:00	八児市民センター	笠原	ふれあい昼食交流会	杉野広利・荒牧崇
10月12日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	清水市民センター	十塚	大人も子どもも防災で遊ぼう！	NPO法人好きっちゃ北九州
10月16日	水	10:00 12:00	2:00	2:00	大里南市民センター	林田	愛されるジイジ・ババに作り方	金子良憲
10月29日	火	10:00 12:00	2:00	2:00	鳥飼市民センター	三好	ほっとまま～風呂敷敷deエコバック～	久永恵美子
11月1日	金	10:00 12:00	2:00	2:00	西南女学院大学	塚本	北九州ジオかるた	杉野広利・大橋直子
11月9日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	三郎丸市民センター	瀬戸	ふれあい竹チェロ体験講座	竹楽共振プロジェクト
11月15日	金	10:00 12:00	2:00	2:00	木屋瀬地域交流センター	田村	家をすっきり片付けながら、人生100年時代の暮らしを考えませんか？	科学技術コミュニケーション研究会
11月16日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	八児市民センター	井上	クッパ	私たちの未来環境プロジェクト
11月26日	火	10:00 12:00	2:00	2:00	泉台小学校	倉方	平和のつどい	聞き書きボランティア「平野塾」
11月27日	水	10:00 11:30	1:30	2:00	穴生市民センター	武智	知っているような気がするけど、いまさらきけないカタカナ言葉	科学技術コミュニケーション研究会
11月28日	木	10:00 12:00	2:00	2:00	八児市民センター	林	モルック体験	私たちの未来環境プロジェクト
11月29日	金	10:00 12:00	2:00	2:00	大里南市民センター	林田	幸運な人と不運な人を隔てるものは何か！	金子良憲
11月29日	金	10:00 12:00	2:00	2:00	高須小学校	成重	平和学習会（八幡大空襲の体験を聞く）	聞き書きボランティア「平野塾」
12月14日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	八児市民センター	井上	大人も子どもも防災で遊ぼう！	NPO法人好きっちゃ北九州
2月22日	土	10:00 12:00	2:00	2:00	錦町市民センター	服部	大人も子どもも防災で遊ぼう！	NPO法人好きっちゃ北九州

3. 全体事業

国内 RCE 実務者 & ユース会議

□活動概要

毎年開催される RCE 実務者会議の企画・運営を実施した。今年は開催地が北九州市で、1 日目はタカミヤ環境ミュージアムの見学やグループワークを行った。2 日目には参加者を 3 つのグループに分け北九州の魅力を伝えるフィールドワークを行った。

□活動日／参加人数

活動日：令和 7 年 2 月 10 日～11 日

参加者数：45 名

□活動内容

【目的】

- ①北九州の地域レベルの課題に触れ、その中からグローバルな課題につながる視点を見つける。昨年の横浜会議で学んだ「多角的なものの考え方」を北九州の事例をもとに実践し、グローバルな視点を養いたい。
- ②ESD 推進活動を持続可能なものにしていくため情報共有・情報発信のプラットフォームを整える。情報共有・情報発信不足という現状を改善すべく、国内 RCE の持続可能なプラットフォームの土台を作成するところまで達成したい。



以上の 2 つの目的を達成すべく、自分たちの目で見て学んだことを 1 つの動画にまとめるという活動を 2 日に分けて行った。1 日目は環境ミュージアムを全員で見学し、紹介動画を作成した。2 日目は若松・もやい聖友会・曾根干潟の 3 つのグループに分かれてフィールドワークを行った。その後 1 日目同様、訪問先の紹介動画を作成した。最後に作成した動画の発表とフィードバックを行った。

□活動成果

動画作成は参加者をいくつかの班に分けて行った。同じものを見学しても班によって注目するポイントが異なり、視点を変えることで物事の見え方が変わることを実感することができた。

また、事前に日本の JAPANRCEYOUTH の Instagram アカウントを開設しており、本会議で作成した動画は Instagram に投稿した。今後各地域の RCE の活動報告を JAPANRCEYOUTH のアカウントと共同投稿してもらう。これにより RCE の情報発信および情報共有を活発にしていく。

3. 全体事業

会議

総会

令和6年5月24日（金）18:30～20:00 まなびとESDステーション

第1号議案：令和5年度事業報告案

第2号議案：令和5年度収支決算報告書（案）及び会計監査報告

第3号議案：役員選出について（案）

第4号議案：令和6年度事業計画（案）

第5号議案：令和6年度収支予算（案）

【結果】 団体・個人会員合わせて136名に対し、書面評決者60、出席者21名
全ての議案について、過半数の賛成をもって可決

役員会

第1回役員会 日時：令和6年5月9日（木）10:00～11:00 まなびとESDステーション

第2回役員会 日時：令和6年9月6日（金）書面決議

合同委員会

第1回合同委員会 日時：令和6年4月8日（月）20:00～21:00 オンライン

第2回合同委員会 日時：令和6年8月22日（木）16:30～17:30 オンライン

第3回合同委員会 日時：令和6年9月3日（火）18:00～20:30 小倉南区生涯学習センター

第4回合同委員会 日時：令和6年11月26日（火）20:00～21:40 オンライン

活動委員会

第1回活動委員会 日時：令和7年3月1日（土）書面決議

未来創造委員会

第1回未来創造委員会 日時：令和6年4月10日（水）20:00～21:30 オンライン

第2回未来創造委員会 日時：令和6年6月10日（月）20:00～21:30 オンライン

第3回未来創造委員会 日時：令和6年6月24日（月）20:00～21:30 オンライン

第4回未来創造委員会 日時：令和6年7月23日（火）15:00～16:00 毎日西部会館

第5回未来創造委員会 日時：令和6年9月28日（土）9:00～17:00 小倉競馬場

第6回未来創造委員会 日時：令和6年11月4日（月）9:00～17:00 福岡県営中央公園

上記日程以外にも、適宜LINEグループでの検討や、委員会内での小グループに分かれてのエデュテインメント開発などを実施。報告書作成や成果物の確認など、随時情報を共有した。

3. 全体事業

交流会・その他

クロージングセレモニー

日時：令和6年6月23日（日）10:00～12:00

場所：まなびと ESD ステーション

企画&司会：ESD プロモート実習生ほか

参加者：約50名

内容：竹凜共振楽団（竹バイオリンとピアノ）の

演奏／スピーチ：眞鍋和博氏（北九州市

立大学）ほか／「縁歌」ワークショップ：原賀いずみ氏（北九州インタープリテーション研究会）



オープニングセレモニー

日時：令和6年7月23日（火）16:00～19:30

場所：毎日西部会館

企画運営：未来創造委員会

参加者：約70名

内容：

- ・ 第一部：ワールドカフェ交流会「ESDのまちづくり」／「ESDを楽しく学ぶエデュテイメント」／「若者世代の活動参画、民間会社とのコラボ」
- ・ 第二部：フリートーク



北九州ESD協議会活動報告会

日時：令和7年3月20日（木）11:30～14:00

場所：毎日西部会館 7F

参加者：約30名

企画運営：活動委員会

内容：活動報告とディスカッション

- ・ チーム活動推進事業
「聞き書きボランティア平野塾」
「特定非営利活動法人 KID 's work」
「認定NPO法人 好きっちゃ北九州」
- ・ 北九州市立大学「ESDプロモート実習」
- ・ RCE国内実務者会議
- ・ 未来創造委員会



Ⅲ．総括

令和6年度は、会員の意見を丁寧に吸い上げながら、「会員が主体となる組織運営」の実現に向けて、令和5年より刷新された運営体制（合同委員会・活動委員会・未来創造委員会）を本格的に稼働させた年となった。この体制により、多様な主体の参画と連携を促進し、地域に根ざしたESDのさらなる推進を図る基盤を整えた。

重点事業である「チーム活動推進事業」には3団体が参画し、各団体の自発性を活かしたプロジェクトが展開された。協議会事務局は、予算面および準備面でこれを支援し、ESDの視点を持つ人材の育成と普及促進に貢献した。

また、「ESD ツキイチの集い」「韓国スタディツアー」「交流イベント」「ESD 出前講座」など、学びとネットワーク形成を目的とした各種事業も継続的に実施され、ESDに関心を持つ市民やユースの裾野を広げる機会となった。

とりわけ、2月に開催された全国RCE実務者会議は、本年度の大きな成果の一つである。北九州がホストを務め、全国のRCE関係者と学びを深める場を創出した本会議では、ユースメンバーが運営面でも重要な役割を果たし、次世代担い手の成長と実践の機会にもつながった。

さらに、長年活動拠点として親しまれてきた「北九州まなびとESDステーション」の閉所にあたっては、クロージングセレモニーを開催し、活動の節目を会員で共有した。移転後には新事務所でのオープニングセレモニーも実施され、会員間のつながりを再確認し、今後の活動への意欲と連帯感を醸成する貴重な交流の場となった。

新拠点（毎日西部会館）では専用スペースはないものの、会議室の都度借用を通じて、引き続き柔軟で持続可能な運営体制を維持していく予定である。

本年度の取組を通じて、ESDを取り巻く社会的関心の高まりを実感するとともに、会員の主体的な実践と若手世代の積極的な関与が、協議会の活性化に直結することを再認識した。今後も、地域に根ざしたESDの展開と、会員の協働による発展的なネットワークづくりを一層推進していく。